

第1章 基本構想策定の背景と趣旨

1. 基本構想の趣旨

魅力にあふれ生き生きとした地域社会を実現するためには、高齢者や障害者はもちろん、すべての人が安心して生活し積極的に社会参加できる、人にやさしいまちづくりを進めていかなければなりません。

枚方市では、平成8年度に「枚方市障害者基本計画」を策定し、ノーマライゼーションの理念を実現するために、さまざまな分野にわたる障害者施策を積極的に推進してきました。平成15年度には、ノーマライゼーションの理念を継承し発展させることを目指し、「枚方市障害者計画」を策定するとともに、高齢者福祉においても、平成12年度に策定した「ひらかた高齢者保健福祉計画21」に基づいた高齢者施策の充実・推進を図っているところです。

このような中、「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」(通称：交通バリアフリー法)が平成12年11月に施行されました。この法律では、高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の利便性及び安全性の向上に向けて、旅客施設や駅前広場、周辺道路、車両などのバリアフリー化を総合的かつ計画的に推進する基本構想を国の基本方針に基づき定めることとされています。

本基本構想は、この法律に基づいて、市内の旅客施設及び周辺地区におけるバリアフリー化を進め、『だれもが安全・快適に安心して移動できる、魅力と活気にあふれるまちづくり』を目指すことを趣旨としています。

2. 基本構想の位置づけ

本基本構想は、交通バリアフリー法および国が定めた「移動円滑化の促進に関する基本方針」に基づき、「樟葉駅及び周辺地区」、「枚方市駅・枚方公園駅及び周辺地区」、「長尾駅・藤阪駅及び周辺地区」の5駅3地区を「重点整備地区」として選定しバリアフリー化を重点的・一体的に進めるため、枚方市交通バリアフリー基本構想(以下「基本構想」という)として策定したものです。また、基本構想策定に際しては、市の上位計画である「第4次枚方市総合計画」、「都市計画マスタープラン」、または関連計画である「枚方市障害者計画」等との整合を図っています。

3. 整備目標年次

整備目標時期は、交通バリアフリー法で定められた、平成22年(2010年)を基本とします。ただし、限られた期間の中で整備が困難と考えられる事項については、継続的な検討を進めることとします。

4．枚方市の概要

(1) 人口と高齢者数の推移

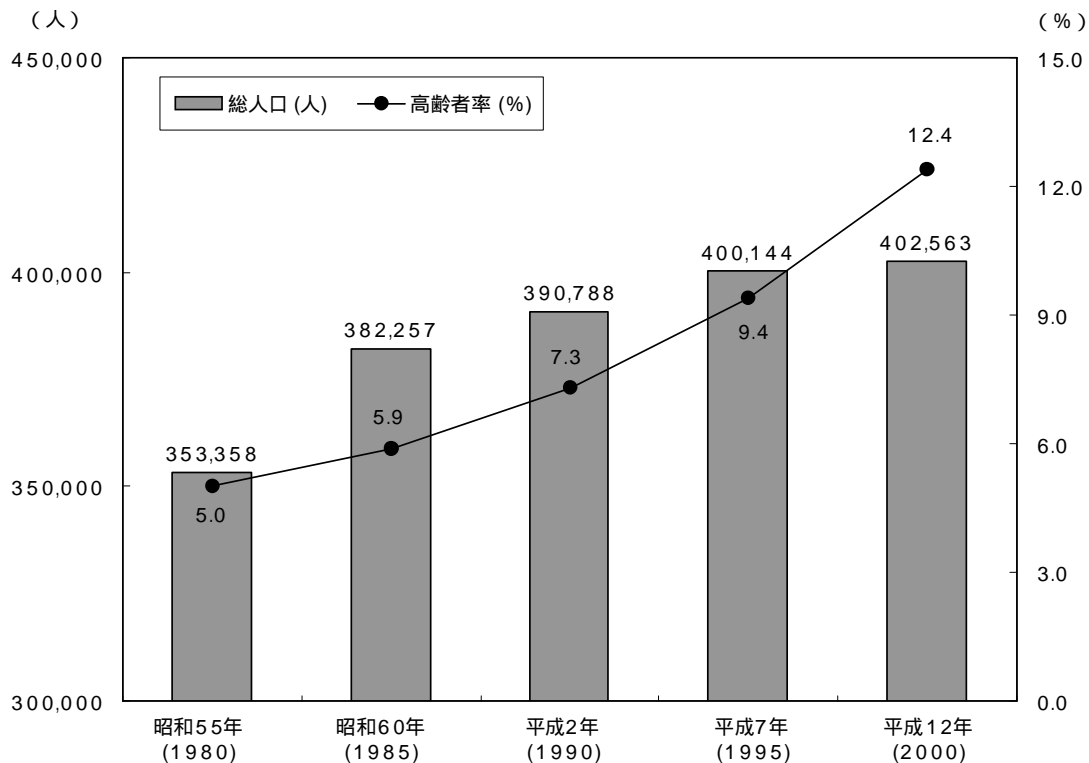
枚方市の人口は、平成12年(2000年)国勢調査で約40.3万人であり、10年前(1990年)の約1.2万人・3.0%の増加、20年前(1980年)とでは約4.9万人・13.9%の増加と、過去20年間増加の傾向が続いています。

また、65歳以上人口が総人口に占める割合(高齢者率)は、平成12年(2000年)で12.4%であり、全国平均、大阪府平均よりは低くなっています。ただし、高齢者率は年々上昇する傾向にあり、10年前の平成2年からは5.1ポイント、20年前の昭和55年からは7.4ポイント上昇し、着実に高齢化が進展しています。

総人口と高齢者(65歳以上)人口推移

	昭和55年 (1980)	昭和60年 (1985)	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	[参考] 高齢者率(H12)
総人口(人)	353,358	382,257	390,788	400,144	402,563	大阪府 14.9% 全国 17.3%
65歳以上人口(人)	17,507	22,652	28,717	37,793	49,727	
高齢者率(%)	5.0	5.9	7.3	9.4	12.4	

資料：国勢調査



(2) 身体障害者数

枚方市の身体障害者数は、平成 16 年(2004 年)3 月 31 日現在で 14,861 人となっています。

身体障害者数 (1 級 ~ 6 級)

総数	14,861 人	(平成 16 年 3 月 31 日現在)
----	----------	----------------------

< 参考 > 全国の身体障害者数

全国の身体障害者数 325 万人 (平成 13 年 6 月、厚生労働省「身体障害者実態調査」)
日本の総人口 約 12,690 万人 (平成 12 年国勢調査)

(3) 公共交通機関

鉄道

枚方市内には、京阪本線、京阪交野線、JR 学研都市線が走っています。

京阪本線は、大阪と京都を結んでいる路線で、枚方市内には光善寺、枚方公園、枚方市、御殿山、牧野、樟葉の 6 駅があります。

京阪交野線は、枚方市駅を起点に隣接する交野市の私市駅に至る路線で、枚方市内には宮之阪、星ヶ丘、村野の 3 駅があります。

JR 学研都市線は、大阪と京都府木津町を結んでいる路線で、枚方市内には津田、藤阪、長尾の 3 駅があります。

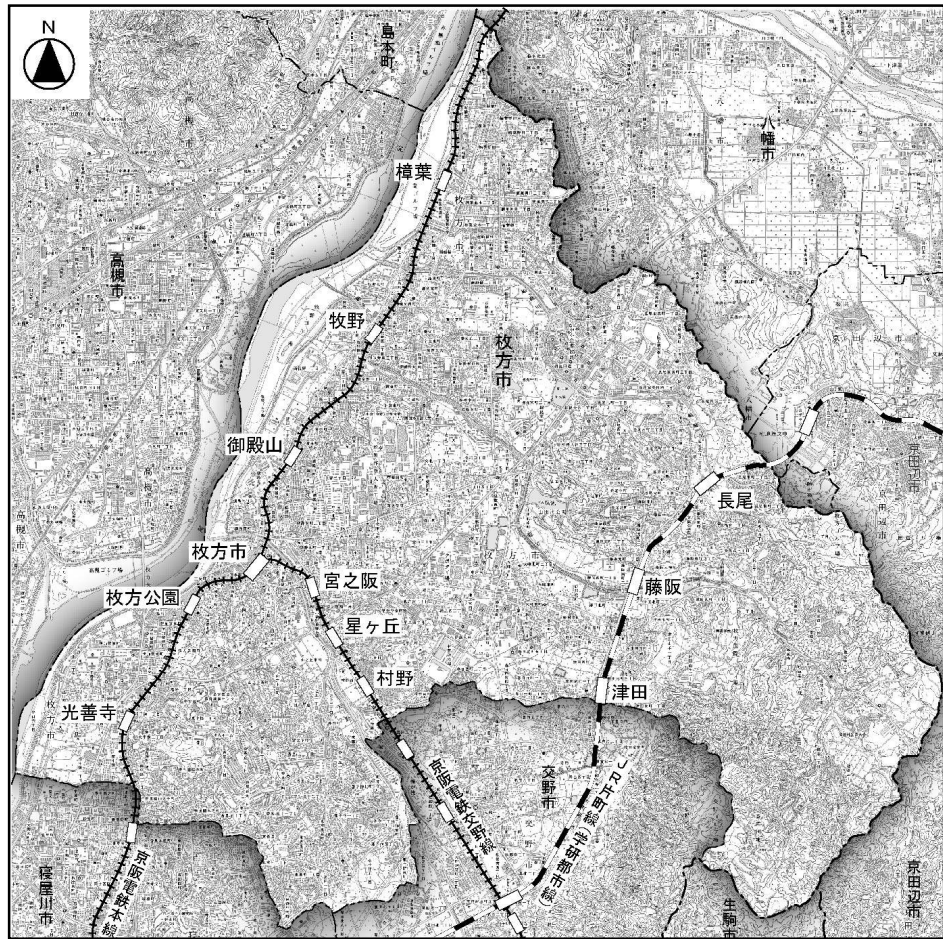
枚方市内の鉄道駅の乗客数は次のとおりです。平成 14 年度の京阪電鉄の乗降客数で最も多いのが枚方市駅で 8.7 万人/日、次いで樟葉駅で 6.1 万人/日となっています。平成 15 年度の JR の乗降客数で最も多いのが長尾駅で 2.8 万人/日、次いで津田駅で 1.2 万人/日となっています。

枚方市内各駅の 1 日乗降客数

(単位：人/日)

路線	駅名	平成 14 年(京阪) 平成 15 年(JR)	平成 10 年	平成 7 年(京阪) 平成 8 年(JR)	備考
京阪本線	光善寺	23,502	23,915	25,500	資料：京阪電気鉄道株式会社 * データは 1 日の調査結果
	枚方公園	20,401	20,985	26,731	
	枚方市	86,647	87,346	97,014	
	御殿山	16,606	15,398	17,641	
	牧野	26,831	33,641	34,245	
	樟葉	61,411	66,100	70,758	
京阪交野線	宮之阪	5,127	6,357	6,722	
	星ヶ丘	5,873	6,710	6,675	
	村野	6,287	6,919	7,744	
JR 学研都市線	津田	11,702	11,602	10,922	資料：西日本旅客鉄道株式会社 * データは 1 日平均乗車人員を 2 倍したものの
	藤阪	5,916	5,612	6,292	
	長尾	28,370	25,144	20,768	

鉄道路線図



バス

枚方市内では、京阪バスと京阪宇治交通が路線バスを運行しています。

京阪バスは、枚方市駅を起点に樟葉、長尾、津田、高田、高槻、茨木方面等、樟葉駅を起点に枚方市駅、長尾方面等、枚方公園駅を起点に香里ヶ丘方面、また津田駅を起点に枚方市駅、穂谷、交野方面等との路線を運行しています。

京阪宇治交通は、樟葉駅を起点に橋本駅、八幡市駅、北山、松井山手、田辺方面等との路線を運行しています。

また、低床式車両の導入率は京阪バスが 35%、京阪宇治交通が 26%となっています。

低床式車両の導入状況

(平成 16 年 9 月末現在)

事業者	車両数	低床車両数	低床車の割合	備考
京阪バス	266 両	94 両 (*1)	35%	枚方営業所、香里団地支所、交野営業所、高槻支所
京阪宇治交通	91 両	24 両 (*2)	26%	男山営業所、田辺営業所

(*1)ノンステップバス及びワンステップバス

(*2)ノンステップバス